

持続可能な社会の構築に向けた“人”の育成をめざして

津山圏域クリーンセンターでの学び

環境学習のご案内

関心 学習 実践 発見

MESSAGE

ESDは、Education for Sustainable Developmentの略で「持続可能な開発のための教育」と訳されています。

今、世界には環境、貧困、人権、平和、開発といった様々な問題があります。ESDとは、これらの現代社会の課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組む(think globally, act locally)ことにより、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そしてそれによって持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動です。つまり、ESDは持続可能な社会づくりの担い手を育む教育です。

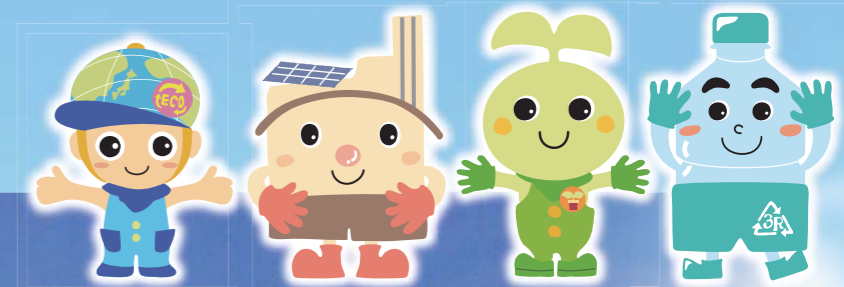
ここ、津山圏域クリーンセンターリサイクルプラザでは環境問題を入り口として、持続可能な社会について学ぶことを目的としています。本プログラムでは小学4年生向けの内容をご提示しましたが、他にも多様な学びができます。ぜひ、当施設をご利用ください。

エコロジカル・フットプリント

「生態系への足あと」の意味で、私たちが生活するのに、どのくらい地球の生物資源を消費しているかを面積で表したものです。必要な食べ物、木材、エネルギーなどをつくり出すために地球何個分を消費する、というかたちで表す。



世界中の人々が日本人のような暮らしをすると、地球2.4個分の資源が必要になります。つまり、日本人は現在の消費のスケールを2分の1以下にすることが求められます。



お問い合わせ先

津山圏域クリーンセンター・リサイクルプラザ

〒709-4611 津山市領家1446番地
 TEL (0868) 57-0153 FAX (0868) 57-2226 <http://www.replaza.jp/>
 開館時間/9:00~16:00 休館日/月曜日

津山圏域資源循環施設組合
 津山圏域クリーンセンター・リサイクルプラザ